

湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日時

令和6年11月29日（金） 15:00～16:30

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

I. 開会

II. 出席者紹介

III. 挨拶（いわき市 総合政策部 創生推進課長）

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

資料1-1、1-2

1. 常磐地区の現状と課題 ～ 計画づくりの経緯 ～

2. 湯本駅前の再生に向けて ～ 一体的な空間の中で民間・公共の機能を配置 ～

3. 湯本駅前のイメージ ～ 交流拠点・共同利用エリアの整備方針の検討 ～

4. 事業の進め方

5. 質疑応答

V. その他

1. 湯本駅周辺土地区画整理事業に関する窓口の設置について

資料2

2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介

資料3-1、3-2

3. 新・いわき湯本温泉コンテンツ創造ワークショップについて

資料4

4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について

5. 質疑応答

VI. 閉会

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

- 湯本駅前の道路が輻輳して交通事故が多いため、道路の付け替えがあると話がありましたが、私がいわき市に情報開示請求をして、交通事故が多いという事実がないということを検証して承認を得ているはずなんです。これは、道の付け替えを承認させるための誘導なのではないかと指摘させていただきました。これは、福島県の都市計画審議会でも指摘させていただきました。
- ビジョンブックの説明がありましたが、市民の意見を全く反映していない、住民が置いてきぼりになり、じょうばん街工房 21 さんと行政が作った資料であるということも検証して、情報開示請求によって分かったことを指摘しました。これも県の審議会でも指摘したんですが、県の審議会では審議の議案にならないと却下されたんです。
- 問題なのは、じょうばん街工房 21 さんは、市から業務委託を受けており、公共の会議をするうえでは利益相反の関係にある団体なわけです。利益相反の関係にある団体で自称非営利団体の方が利益を受けながら、このように中心となって市民の意見を無視しながら進めた事業をこのままゴリ押ししていいのか疑問です。
- このように指摘したにもかかわらず、検証されずにお話しされたっていうのはとても残念に思います。
- 御幸山周辺の法面工事が予定されているが、その工事用の重機や資材はどこで管理して工事を進める予定なのでしょうか。その土地が借地の場合、賃貸料と整備費用の予算額を教えてください。
- ⇒ かねてより現地調査をさせていただき、地質調査もございました。次年度から工事を進めていきたいと考えております。工事にあたりましては、重機の配置やどの敷地を借りるかなどの工事計画については、今後立案していきたいと考えております。借地料については今の段階では決まっていません。
- 予算がつかなかったら工事ができないじゃないですか。
- ⇒ 現在、予算要求に向けて準備をしています。
- 予算がないのに工事を進めると決めたんですか。
- ⇒ まだ計画段階のため、これから予算要求をさせていただきながら、承認されれば工事を進めていきます。
- 駐車場のことをお聞きしたいです。若葉台に住んでおり、湯本駅を使う頻度も多く、駅前の駐車場は便利に使わせてもらっています。新たな駐車場は品川駐車場のところにできるということですが、にぎわいを創出したいというお話ですが、そのにぎわいのための人はどうやって湯本に来るのかなと思います。皆が電車で来てくれればいいですが、いわきは車社会なので車で来る方が非常に多いと思います。いわき駅前のラトブに行きやすいのは駐車場があり車が止めやすいことがあると思います。田舎の開発は車無しではできないのではないかと思います。
- 150 台の立体駐車場ということですが、例えば湯の街学園祭をやる際、4 人ずつ乗ってきても

600 人しか誘客出来ない。ほかの人たちはどうやって来るのかという疑問があります。やはりもう少し駐車場のことを考えていただいて、1,000 台とまでは言わないまでも、車が多く停められるかたちにしないと、せっかくの交流拠点施設も、高校生や歩いてこられる近くの方などに限定されてしまうのではないのでしょうか。

○ 観光客の方は電車で来られる方が多いから問題ないと思いますが、地元の方にも来てもらうために駐車場を増やすという考え方もあると思うのですが、いかがですか。

⇒ 駐車場の台数については、敷地の広さを踏まえた台数設定となっています。ただし、電車で来られる方だけではなく、車で来られる方もたくさんいます。イベント時などのニーズを満たす駐車場を整備した場合、普段が空き駐車場となってしまいますので、街中の駐車場との連携を考慮した、駐車台数の考え方です。

○ 街中の駐車場の台数は何台ですか。実際に街中に無料で停められる駐車場が少なく使いづらいので、2 時間無料で停められるなどの公的な駐車場があったほうがいいです。周辺の駐車場を利用した場合に 30 分 100 円かかるとなると長く滞在できないので、新たな駐車場は無料でしょうか。

⇒ 現時点で料金設定は確定していませんが、現在の駅前駐車場の役割を担うことは考えています。駐車料金は事業費を勘案して決めていくことになります。

○ ラトブのように利用者は 2 時間無料にするなど、使いやすいように駐車料金を検討していただきたいです。

○ 計画のスケジュールは出ていますが、総事業費はどのくらいですか。また、どのくらいの方が平日や休日に滞留するという費用対効果はどのように考えていますか。

⇒ 令和 4 年に基本計画を策定した段階での事業費は、交流拠点施設として公共の負担が 40 億円です。ただし、物価が上昇しているため、積算をし直せば変わると思いますが、現時点では検証しておりません。

⇒ 実際にどのくらいの人を呼びたいかについては、資料の 10 ページに記載しておりますが、震災前に 60 万人だった観光入込客数が、令和 3 年で 18.5 万人、令和 4 年でも 20 万人となっており、3 分の 1 程度となっています。これを、交流拠点施設だけではなく、基本計画の 9 つの事業を進めることによって、エリア全体として観光入込客数を 60 万人まで回復させようとしています。また、令和 2 年に 3,000 人程度だった鉄道利用者について、観光客の方や地元の方に電車を利用していただくことで、約 4,000 人の利用者を目指していきたいです。

○ 交流拠点施設だけではなく、この事業全体の総事業費はどのくらいですか。

⇒ 区画整理事業で 18 億円、交流拠点施設は 40 億円です。これを含め、9 つの事業全体で 80 億円と試算しています。

○ 本当に 80 億円で済むんですか。

⇒ これは、2 年前に策定した段階で試算したものです。現時点で同じクオリティで試算した場合、1 割や 1.5 割上昇している可能性はありますが、仕様は確定していない部分もあります。

交流拠点施設については、皆様からの御意見や、民間事業者さんとの意見交換などを踏まえながら、最終的にどのような設えにするのか、どのような機能をどの程度の規模にするかを決めていますので、現時点ではあくまで概算での事業費です。当然コストも意識しながらやっていきます。

○ 電線の地中化は想定していますか。

⇒ はい。

○ その範囲はどこまでですか。

⇒ 区画整理事業のエリア内となります。

○ 交流拠点施設の延床面積が小さくなるようですが、図書館の冊数は減りますか。

⇒ 現在4万冊あり、それを維持する予定です。また、車いすの方が通れるような通路の幅の確保などを目指しています。

○ 支所や図書館が来れば、若い人も年寄りも人がたくさん動き、駐車場からも歩くことで、各商店街などでの買い物に繋がると思います。

V. その他

《2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介》

○ 東京から移住してきたんですが、湯本はレトロな雰囲気が魅力で移住してくる方もいると思います。レトロな雰囲気を残すというのはとてもいいと思いますが、温泉とフラがテーマといいますが、フラっぽくするというのはどういうふうにするんですか。

⇒ 広場にヤシの木など南国の雰囲気を出すことをイメージしています。

○ 駅前のイメージを見ると近代っぽい印象に感じます。景観の話もありましたが、どういうイメージで行くかが大事だと思います。例えば、ステージのところをアラモアナショッピングセンターみたいにして、まわりをレトロな雰囲気を残すなど、具体的なことを考える必要があると思います。ハワイ島は、古き良き雰囲気が残っていたりするので参考にしていいただければと思います。

《4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について》

○ みゆきの湯を廃止することで、指定管理者の従業員が失業してしまうのではないかとと思いますが、その対策はどのように考えていますか。

⇒ みゆきの湯の従業員については、指定管理者となっている会社の中で働いていただけるようにご提案させていただく予定です。

○ 上の湯やさはこの湯には現状の従業員がいるので割り込むわけにいかないと思いますが、それは大丈夫なんですか。

⇒ 今後、指定管理者側で話を進めていただくことになります。

○ 働いている人が困ることがないようにお願いします。